

## (仮称)屋代スマートインターチェンジ建設事業及び関連事業に伴う説明会 質疑応答(要旨)

- 1 開催日時 令和6年8月21日(水)15時および19時から(2回)
- 2 出席者 公民共創推進担当部長、市道路河川課職員、市公民共創推進室職員
- 3 説明会参加者 全45名(15時からの回:34名、19時からの回:11名)
- 4 質疑応答(要旨)

Q:雨水調整池の規模はどのくらいか、構造は地下式かどうか。

A:現在設計段階であり、規模についてはまだ決まっていません。

構造は維持管理しやすい自然流下できるオープン方式で、雨水を一時的に貯める窪みのようなものを想定しており、普段、水は貯まっておりません。

写真の雨宮産業団地は、多目的グラウンドとして利用可能な施設になっております。

Q:スマートインターチェンジの利用想定台数を教えてください。屋代、雨宮産業団地からどの位の車が来るのか。

A:事業化にあたって、推計値は算出していますが、国が非公表としているため、現時点ではお示しできません。

Q:側道の幅員は何メートルになるのか。

A:原則として天端幅が5メートルを予定しています。

Q:スマートインターチェンジ周辺開発の進捗状況は

A:屋代開発事業に係る地権者会より、地権者向けに開発についての現在の状況を伝える便り「屋代地区まちづくりニュース」を発行しています。随時発行し、お知らせしていきます。また、市のホームページでもニュースを紹介しています。

Q:モーダルコネクト拠点から県道白石千曲線までの、市道一重山2号線から西側の農地はどうなるのか。

A:モーダルコネクト拠点については、市(公民共創推進室)で本線上にある高速バス停の代替施設を整備するため用地買収等を予定しています。

市道一重山2号線より西側について、モーダルコネクト拠点から南側は民間事業者にて住宅ゾーンとしての開発を予定しています。すでに民間事業者が、各地権者へ訪問したとお聞きしています。

Q:生萱から屋代に繋がる道(市道返町東西線)は、スマートインターチェンジ供用後は通れなくなるのか。

A:市道返町東西線の一部は高速道路として使用するため、近隣の道路を迂回していただくこととなります。設計がもう少し進んだ段階で、詳しく説明する機会(設計説明会等)や区等の要望に応じて、各区等で説明する機会も設けさせていただく予定です。